

◆パブリックコメントにおける提出意見と市の考え方

No	計画案の 頁番号	案に対する意見(要旨)	意見に対する市の考え方	計画案の変更
1	P28	田川市の観光振興の観点からも自転車ネットワークは市内のみで完結させるのではなく、近隣自治体の整備済インフラへの接続を視野に入れて整備を検討すべきである。	自転車ネットワーク計画の対象エリアは市内全域としているが、整備面を考えると現実的ではないため、用途地域内を重点整備エリアとして設定した経緯があります。 また、近隣自治体では自転車ネットワーク計画が未策定であることから、近隣エリアにまたがる広域な路線については、近隣自治体での計画策定段階で接続が可能となるように本市内の区間(行政界まで)を自転車ネットワークまたは補完路線に設定しています。	原案どおり
2	P31	自転車の受入環境整備については、リニューアルした田川伊田駅舎内にサイクルステーションを整備することで、より一層駅舎の利用増加が期待できるのではないかと考える。	県ではサイクルステーションの整備を含むサイクルツーリズムを推進しており、市としても可能な範囲で協力することとしていますので、施策の1つとして参考にさせていただきます。	原案どおり
3	P33	新中学校が開校すると、自転車通学する生徒が多くなると思われるので、交通安全教育を徹底してもらいたい。	本計画の目標の1つに掲げていますので、目標が達成できるように取り組んでいきます。	原案どおり
4	P41	子ども達が通学などで安心して利用できるようにしてもらいたい。	自転車ネットワークに新中学校再編に伴う主な通学路となる路線を抽出していますが、現段階では全ての通学路が決まっている訳ではありません。そのため、最終的に市内の通学路が確定後に必要があれば自転車ネットワークを見直すこととしています。	原案どおり
5	P41	自転車ネットワーク路線において自転車通行空間の整備を進めると思われるが、路線が多いため、あらかじめ優先順位を決めておいた方がよいのではないかと。	予算面で自転車ネットワーク路線の全てに自転車道の整備ができる訳ではありませんので、今後、県または市の担当部署で自転車の通行状況や危険度などを勘案しながら優先度合を決めていくこととなります。	原案どおり